

2018年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日 時：2018年10月16日(火)18:00～18:56

場 所：聖路加国際病院 2号館2階 メディアルーム

議 長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、小林 京子、縄 秀志、高橋 奈津子、青木 美紀子、大久保 暢子、川上 千春、
小山田 恭子、三森 寧子、中田 諭、木下 康仁、中山 昌明、中村 めぐみ、墨岡 亮、
鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員：鶴若 麻理、小野 若菜子、松井 陽

(出席者 16人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 青木 裕見 (精神看護学 博士)

「就業後に注意欠如・多動症と診断された人が情報を得て共同意思決定の手法で治療方針を検討するプロセス -治療選択の手引きの有用性の検討」

研究責任者(青木氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

| 整理番号 | 研究課題名 | 所属 | 職種 | 研究責任者 |
|---------|--|---------|-----|--------|
| 18-A037 | 重度意識障害患者の patient centered care に関する事例研究 | 看護技術学 | 修士 | 大坪 賢治 |
| 18-A035 | 胎児異常を診断された女性を支えるバース&ペアレンティング・プランニング・プログラムの開発と評価 | 助産学 | 博士 | 北園 真希 |
| 18-A044 | 看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験 | 看護技術学 | 修士 | 武田 希帆子 |
| 18-A049 | サクラセルエキストラクト、ユズ精油を用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討 | 看護技術学 | 准教授 | 大久保 暢子 |
| 18-0A42 | 外来に通院する慢性心不全をもつ高齢者および医療者の薬剤調整に関する認識 | 老年看護学 | 博士 | 桑原 良子 |
| 18-0A43 | 不登校児童生徒がひきこもりにならない支援とは～不登校経験者による語りから～ | 公衆衛生看護学 | 修士 | 山本 充 |
| 18-A045 | 事業化における産業保健師の技術 | 公衆衛生看護学 | 修士 | 石川 りさ子 |
| 18-A047 | 急性・重症患者看護専門看護師が家族看護に困難を抱いた看護師に行うコンサルテーション | 成人癌後学 | 修士 | 渡邊 純子 |
| 18-A048 | タンザニア助産師のための“女性を尊重したケア”に関する尺度開発 —Women-centered care および Disrespect and Abuse の視点から— | 看護学研究科 | 助教 | 下田 佳奈 |
| 18-A050 | 医療的ケア児に対する在宅療養移行期の支援体制～行政保健師に焦点を当てて～ | 公衆衛生看護学 | 修士 | 小池 千咲 |

| | | | | |
|---------|-------------------------------------|-----|----|---------|
| 18-A051 | 在住外国人妊産褥婦のニーズに合ったケアを調整するための確認リストの開発 | 助産学 | 修士 | プジョー恵美里 |
|---------|-------------------------------------|-----|----|---------|

3. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

| 審議事項 | 整理番号 | 研究課題名 | 所属 | 職種 | 研究責任者 |
|------|---------|---|-------|----|--------|
| 変更申請 | 18-A044 | 看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験 | 看護技術学 | 修士 | 武田 希帆子 |
| 変更申請 | 18-A044 | 看護師との関わりからみえる急性期失語症者の経験 | 看護技術学 | 修士 | 武田 希帆子 |
| 終了報告 | 17-A089 | 外国人模擬患者(SP)体験を通じての学びと動機づけ | 基盤領域 | 教授 | 井上 麻未 |
| 終了報告 | 16-A072 | 在宅看護における超音波装置での排尿ケアアセスメントの有効性と操作性に関する研究 | 在宅看護学 | 助教 | 佐藤 直子 |
| 終了報告 | 16-A093 | 超音波検査法を用いた嚥下機能評価の教育プログラムのフィージビリティ検証 | 在宅看護学 | 助教 | 佐藤 直子 |

4. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 委員長より、本学 学生の教育コースが新たに開設され、新規申請が増加したことに伴う委員の追加について報告された。
- ③ 事務局より、臨床研究 ポケット資料集(2018 年度版)が配布され、配布書類に関して説明があった。

5. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2018 年 11 月 20 日 18:00～ (2 号館 2 階 メディアルーム)にて開催。